毒牙の訪問（中）

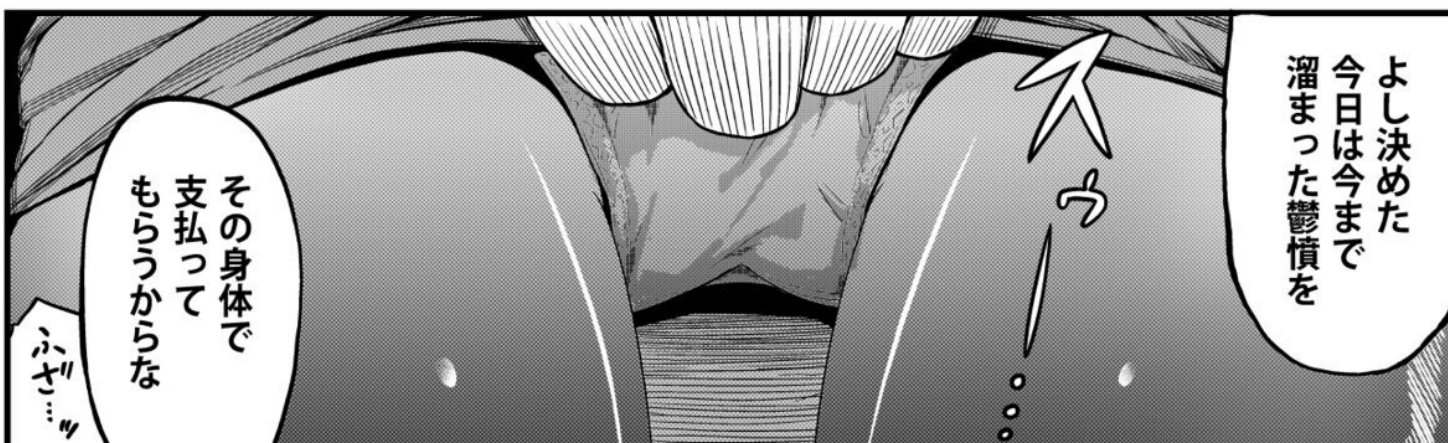
まる巳亭

来客・・・？
聞いてないけど・・・
ていうかこの靴って・・・
ザッ・・・ッ
!!
まさか・・・
あっ
やっ
そんな・・・
嘘でしょ・・・!!
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ
柚乃!!
大丈夫!?

ちょっと……
ごっぉ
んぐっ
ぷるっ
ぷるんっ
パッ
パッ
パッ
パッ
パッ
パッ
あんた達何やってんのよ…!!
ジュプ
ジュプ
んっ
ふぐ
おう柚希
久しぶりじゃねえか
ふっ
んっ

いま柚乃とのスキンシップで忙しいんだ
……ッ
ガサッ
用なら後にしてくれねえか？
ふっ…ッ
つざけんなクソ親父!!
ドンッ
警察に突き出してやる!!
あぁでもその代わり…
別の男が
ゴスッ
お前に用があるみたいだぞ？
な…ッ
カチャッ

ビクッ
ムニィ
ちょ…ッ
凌久!?
ギュム
ギュム
おい凌久
やめろって
はぁ
はぁ
ピクッ
無理だよ…
だって俺
前からこうした
かったもん
ッッッッッッ



クソッ
触んなブタッ!!
キモいんだよ!!

はぁ

はぁ

ビクッ

はぁ

あ〜姉貴の身体
柔らけぇ・・・

ギリ・・・

お・・・おい!?

何当てて
んだって

ズリ・・・

何って
ナニだよ

あ～そういや

ん

柚希は何で襲われてるか知らないんだったな

じゃあ娘想いの父ちゃんが特別に教えてやるよ

ほれ

これだよ

はっ

はっ

出ていく前凌久にこれを渡してたんだよ

あ・・・・あ

覚えてるか？

この頃からお前は生意気だったなあ

ちゃんと舐め上げろよ

……ッ

凌久に渡したらさぞ喜んでな

はぁ

はぁ

ロォ…

はっ

えあ…ッ

裏スジも丁寧に舐るんだ

……ッ

おらもっと奥までペニス咥えろって

毎日猿みたいに抜いてたようだぜ

ビクッ

ズル

んっ

グプッ

んぷッ

以来 凌久は実の姉をずっとズリネタにしてきたんだよ

ははっ抵抗が逆に良い圧迫感だ

ングッ

ガッ

グポッ

おんっ

このまま精子出してやるぞちゃんと飲めよ

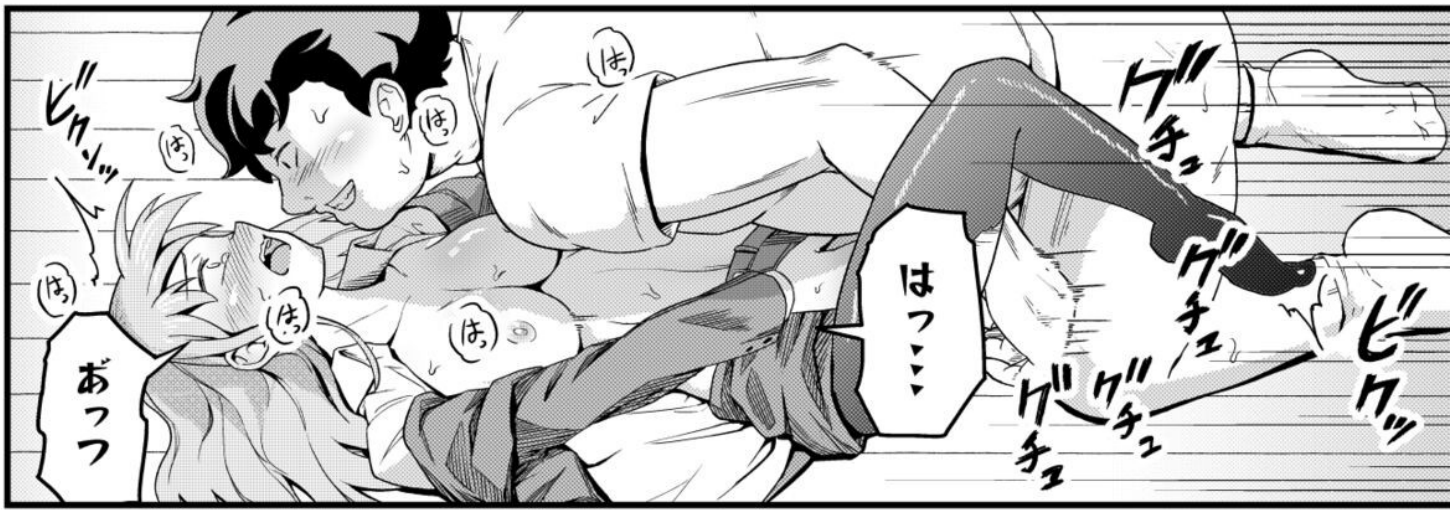
グポッ

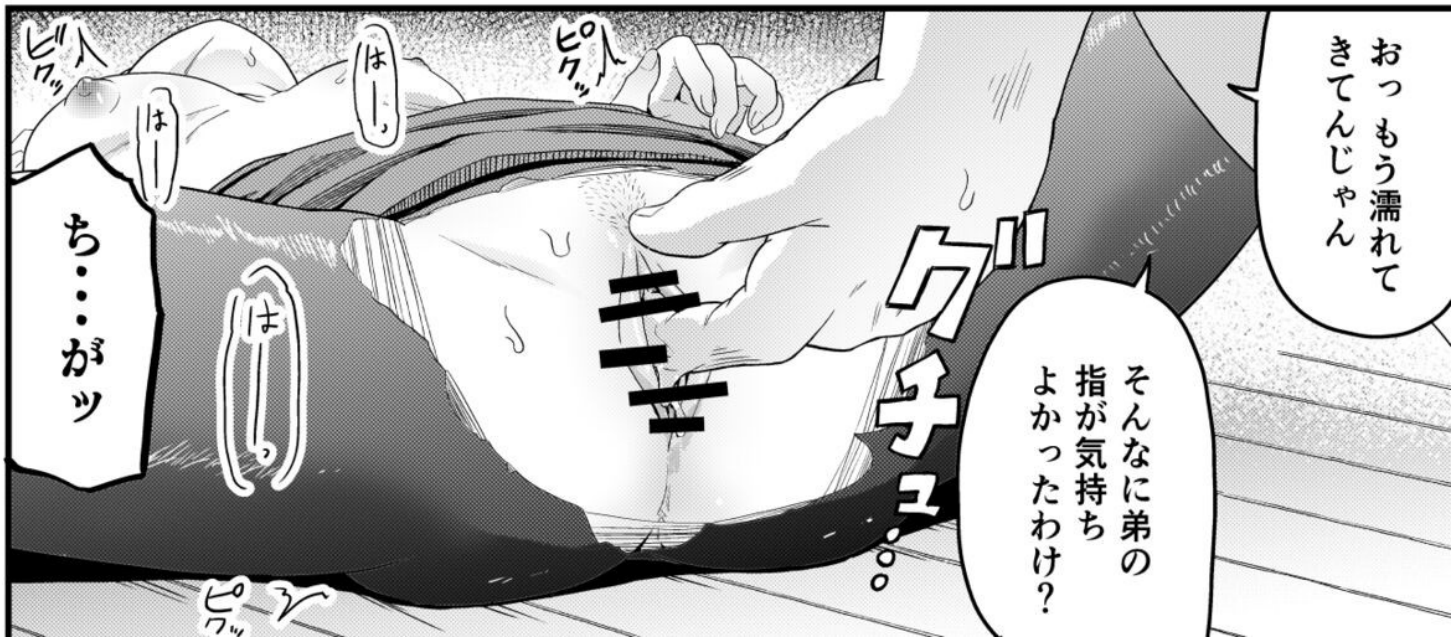
望みがやっと叶うんだ
最後まで自分でしっかり犯せよ
うん
狂ってる・・・
さ、さっきまで柚乃(ゆの)とセックスしてた時からさ
おい
どけって
姉貴のマンコに突っ込むことばかり考えてたんだ
イジメられた分どんだけ膣に出してやろうかってさ
・・・・ッ

くっ・・・・
ぐぐ・・・
こ・・・の
やっあ
ビクンッ
レロォ〜〜
ダュッ
ダュルッ
ダュ〜ッ
くぅ・・・あ

はぁ
や・・・め
プロ
プロ
プロ
ぢゅっ
はぁ
てよぉ・・・ッ

へへっ・・・
次はマンコだ
ブチッ
ブチッ
ブチッ
やっ・・・
やめろって
離せよ
キモ野郎
はっ
はっ
はっ
はっ





はな・・・せ・・・
は――っ
ピクッ
は――っ
は――っ
この野郎・・・
ピクッ
へへ・・・
ぬぅん・・・

いいよな姉貴？
弟チンポ突っ込んでも？
なっ
やめろ凌久
ビクッ
はぁ
はぁ
はぁ
挿れたらお前・・・許さないからな
スチャ
ハッ父親のペニスフェラしてる時点で今更だろ
おい!!まってって!!ま・・・っ

ズボッ

ビクッ

アッ あぁっッ
があ・・・・・ッ!!

ハッ……

ふざけ…ないでよ

ろくに働けない男が何イキってるワケ？ダッサ…

その前にまずやる事やりなさいよこのニート野郎

ギリ…ッ

く…ッ

口の減らない女だなあッ!!

ビクッ

イッ…

だったら今から試してやるよ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

引き籠りの弟チンポに犯されても負けない姉マンコかどうかってなぁ!!

どうした姉貴？抵抗しないのかよ
もう堕ちたか
はっ
パンッ
うっ…ざいんだよデブ
はやくどけって!!

ドクッ
ビュッ
ビュッ
ビュルルッ
ビュルルッ
ゴプォ
かはっ
ぁぁっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

じゃあ今度は
こいつも混ざろうか

ズゥ…

は？…何で

柚乃…？

……。

お姉ちゃん…

ごめんね…

はぁ

はぁ

こうすれば
早く終わらせる
って聞いたから…

ピトォ

まって

だから少しだけ
我慢しよ…？

なっ

そ…そんなの
ウソに決まってる
でしょ!?

ふるん

柚乃正気に
戻って…ッ

はぁ

はぁ

はぁ

それは無理な話だなあ

んっ

柚乃はもう俺達に逆らえないもんな？

柚乃っ

はっ

ふる……

はぁ……あ……

はぁ

お前が来るまで上の口も下の口も随分味わってやったぞ

あっ

んぁっ

今じゃ自分から腰をふるくらいだ

抵抗しても辛いだけだよお姉ちゃん…

だったら痛くない方がいいよ…

はぁ

だめ…やめて柚乃…ッ

はぁ

んッ

くぷ

パ

パ

パ

パ

パ

パ

ビクッ

ビクッ

ぐっ

んっ

んうっ

はぁ

はっ

ふっ

トロォ…

ビクッ

ふぁっ

ズポッ

ズルッ

やっ…だめだめっ…!!

そろそろ良さそうだな…

じゃあ挿れるぞ～

ゲゲ…

ゲ…

おっお…入った入った
やあああ
やだやだやだぁ…ッ
パンッパンッパンッパンッパンッパンッ
ビクッ
抜いてよ
抜いてってばぁ
はぁ
はぁ
ズプッ
プッ
プッ
プッ

お口が暇そうじゃん姉貴

今度は弟チンポをしゃぶって掃除してくれよ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

いっ・・・嫌・・・

そう言わずにさぁ

もうセックスしたんだしいいでしょ？

良いワケな・・・

ズィ・・・

ほら

そんなムキになるなって

グッ

グッグ・・・ッ

・・・・・・ッ

言う事きけっておらっ

ゴプッ

グプッ

んーッンゲ・・・

そうそう

はぁ

ちゃんと舌使えペロペロとな

はぁ

んっ

グポッ

グッグッ

ゴポッ

おっ

柚乃ちゃんも物欲しそうにしてるじゃないか

ヌウッ…

ビクッ

ひっ

そんなに欲しいならおじさんのをあげるよ？

ズリ

ズリ

……ッ

おいオッサン汚いモンを柚乃に見せんじゃねえよ

ビクッ

パッ

パッ

パッ

パッ

パッ

殺すぞッ

おお怖い怖い

はぁ

はぁ

こりゃ徹底的に調教しないとな

ふる

ふる…

トロォ…

お姉ちゃん…

……っ

オペロ…

……ッ

柚乃…!!

ゲプッ

ゲプッ

ゲプッ

コプ

コプ

こっちもそろそろ仕上げにするか

ビクッ

ひあっ

柚希 お前まだこっちの経験はしてないだろ？

クパ

ア…

さわっ…んぐっ

口離すなよ姉貴

お前みたいな気が強い女はアナル(こっち)が弱いんだ

ゴプッ

ゲプッ

ん！ん～～～ッ

おっおお…お…
ビクッ
ズプ
プ
プ
プ
…ッ!!!

へへっ……入った入った
ニャ ニャ
これで娘二人ともアナルバージンを奪ってやれたな…

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
お前の母親はこれで喜んでたんだぜ？
ンッ
ゴプッ
グブッ
ングッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
グリッ
グリ
バ
バ
バ
チュッ
バ
チュッ
あとこういうのも好きだったかな？
ビクッ
はっ
はっ
はっ
きゃうっ
バッ
バッ
バッ
バッ

くっ
ビクッ
はっ
はっ
はっ
ふっ
ズッズッズッズッズッズッズッズッ
はははっ こっちも生意気に締め付けてくるじゃねえか・・・なあ？
ぐっ・・・うぅう〜〜〜ッッ
父ちゃんのチンポ気持ちいいだろ？
はぁ
はぁ
どうだ？
スリ・・・
うるッさいんなわけ・・・
素直じゃねえなあ
ペロォ
やっあ
パッ
パッ
パッ
パッ
パッ
パッ
ん〜〜〜〜ッ!!

何だ…漸く堕ちたか？
いっ…いってな…んぁっ
素直に言えよ本当は欲しかったんですってな
はっ
はーっ
ズッ
ビクッ

正直じゃないとまた膣内出しするぞ？
やっ
でも亮さん正直でも膣内に出すでしょ？
流石だね～勇さん正解っ
あはははっ
パンッ
ゲチュ
ビクッ
ピクッ
あっ
はっ

そんな事言ってたらまた出そうだ
こっちもですわ
僕も…
そしたら景気よく全員でイキましょうか
じゃあせーのでイクぞ～
せーの
いいねぇ
はっ
はーっ
ズッ

ドプッ
ドプッ
ビュッ
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
やッ
あッ
ごめ
んっ
うあっ

どろぉ…
よっと…
お〜〜
出た出た
溢れてきてるな
ピクッ
ぐす
ひぐっ
は——っ
ぐす
は——っ
は——っ
この後もじっくり
犯しまくってやる
から覚悟しとけよ…？

そうだ・・・ねえ父さん
ちょうどいいから話すんだけど
母さんさ最近新しい男と付き合い出したんだ
あら
へえ
今日出掛けてるのもその人とだよ
どんな奴なんだ？
どうしたの？
どうって・・・悪い人じゃないよ姉貴みたいにイジメてこないし
抽希から電話があったみたい
ふん・・・そいつは今日ここへ来るのか？
かけ直しても出ないし・・・
ふーん
たぶん・・・
大丈夫なんじゃない？
そうか・・・なぁ良いコト思いついたぜ
抽希ちゃんはしっかり者だし・・・心配ないよ

そいつもここに混ぜてやろうじゃねえか

コッ

コッ

え・・・!?

でもそれは・・・

いいじゃねえか そいつも姉妹(こいつら)達と仲良くなれるんだしよ

キィ

どうぞ

ありがと

でも・・・それじゃ母さんが・・・

お前もまだ出し足りねえだろ？

遠慮すんなって

ガチャッ

ただいま～

ほれ 来たぞ

ここからが最高潮(クライマックス)だ